



2020. 5. 8

「篠原支店」「伊豆長岡支店」「大須賀支店」を移転

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、第14次中期経営計画「COLORs ～多彩～」の基本戦略「グループ営業戦略」の一環として、篠原支店、伊豆長岡支店、大須賀支店の3店舗を「店舗内店舗方式」で移転することとしましたので、その概要をご案内します。

※店舗内店舗方式とは、一つの店舗内で複数の支店が営業する形態で、移転後も店名・店番・口座番号に変更はなく、通帳・証書・キャッシュカードなどもそのままご利用いただけます。

1. 移転の背景、目的

- 近年、コンビニATMの普及やキャッシュレス化の進展、インターネットバンキングを通じたお取引の増加などにより、銀行店舗にご来店いただかなくても完了できる手続が増えています。
 - このように銀行店舗の役割が大きく変化するなか、静岡銀行では、店舗内店舗方式による移転を推進することで、営業拠点と人員の集約を図ります。
 - これにより、地域の特性に応じた営業体制の構築をめざすとともに、営業担当者の集約により、専門知識やノウハウの共有を促進することで、従業員のスキル向上を図ります。
- そして、多様化するお客さまのニーズに適切にお応えしながら、より付加価値の高いサービスを提供します。
- なお、店舗内店舗方式は、2015年7月に砂山支店から導入を開始し、これまでに7店舗で実施しています（砂山支店、御殿場西支店、河津支店、本町支店、浜松西支店、佐鳴台支店、中島支店）。

2. 移転の概要

対象店舗	移転先店舗	移転日
篠原支店 (浜松市西区篠原町 11129-2)	雄踏支店 (浜松市西区雄踏 1-14-30)	2020年6月22日
伊豆長岡支店 (伊豆の国市長岡 1102-32)	菰山支店 (伊豆の国市四日町 665-6)	2020年7月13日
大須賀支店 (掛川市横須賀 1424-1)	大東支店 (掛川市大坂 460-1)	2020年7月27日